Grandview
PROJECTION SCREEN

パネル型スクリーン
取り扱い設置説明書

このたびはグランビュープロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いにになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置方法を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

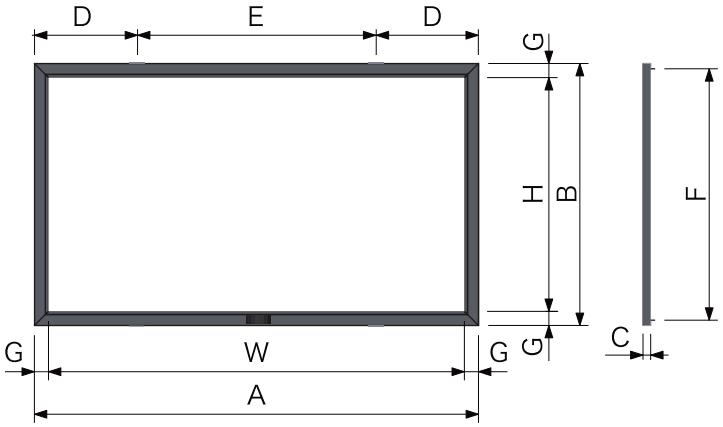
◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容を、必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「厳守」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

スクリーン寸法図



■ＨＤサイズ(16：9)

型番	スクリーンサイズ		外形寸法			取り付け位置			マスク	重量
	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)	E(mm)	F(mm)	G(mm)	(Kg)
GPA- 80HDW	1771	996	1971	1196	40	500	971	1121	100	10.5
GPA-100HDW	2214	1245	2414	1445	40	600	1214	1370	100	15.9
GPA-120HDW	2656	1494	2856	1694	40	600	1656	1619	100	18.4

■ＷＸＧＡサイズ(16：10)

型番	スクリーンサイズ		外形寸法			取り付け位置			マスク	重量
	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)	E(mm)	F(mm)	G(mm)	(Kg)
GPA- 80WXW	1723	1077	1923	1277	40	500	923	1202	100	12.7
GPA-100WXW	2154	1346	2354	1546	40	600	1154	1471	100	15.7
GPA-120WXW	2585	1615	2785	1815	40	600	1585	1740	100	18.9

付属品

組み立て及び取り付け用として以下の部品が付属しています。
① 取り扱い設置説明書 ② 組み立て用部品 ③ 取り付け用部品

80HDW・80WXW・100HDW・100WXW・120HDW・120WXW		②組み立て用部品	③取り付け用部品
ホック ＊サイズによって入数が異なります。２～３ページの組み立て方法をごらんください。	縦フレーム×左右各１本	メタルバー 横フレーム用 上下各１本	取り付け用金具 4枚
横フレーム×上下各１本	六角ボルト M8×20mm ４本	縦フレーム用 左右各１本	金具固定用ボルト M6×10mm ８本

フレーム組み立て方法

組み立てする前にスクリーンを固定するホックの入数を確認し、あらかじめ横フレーム(上・下)縦フレーム(右・左)のスリット部に差し込んでください。
尚、横フレーム用のホック(指定数量)はあらかじめ差し込みしてあります。縦フレームには、サイズに合わせた個数を確実に差し込んでください。

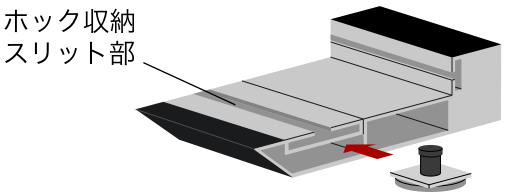
入数

型番	横フレーム(上・下)用	縦フレーム(右・左)用	予備	合計
GPA- 80HDW	6個×2 = 12個	4個×2 = 8個	2個	22個
GPA-100HDW	8個×2 = 16個	5個×2 = 10個	2個	28個
GPA-120HDW	9個×2 = 18個	5個×2 = 10個	2個	30個
GPA- 80WXW	6個×2 = 12個	4個×2 = 8個	2個	22個
GPA-100WXW	8個×2 = 16個	5個×2 = 10個	2個	28個
GPA-120WXW	9個×2 = 18個	6個×2 = 12個	2個	32個

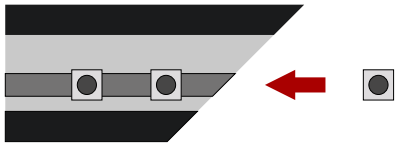
◆ フレームの組み立て

横フレーム用のホック（指定数量）はあらかじめ差し込みしてあります。縦フレームには１ページの表を参照して、サイズに合わせた個数を確実に差し込んでください。

１．フレームにホックを差し込んでください。

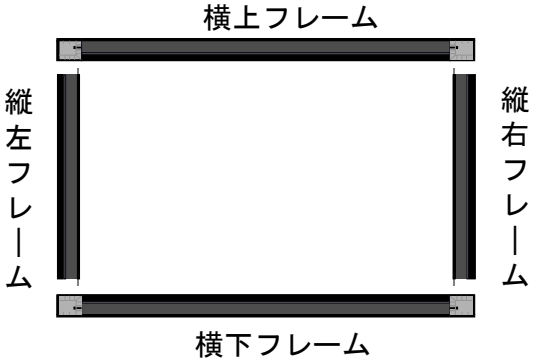


１－１．フレーム内側のスリット部へホック下部を滑りこませるようにして差し込んでください。



１－２．横フレーム、縦フレームともにサイズに合わせた個数を確実に差し込んでください。

２．フレームを平らな所へ黒い面（表面）を下にして、上下左右並べてください。



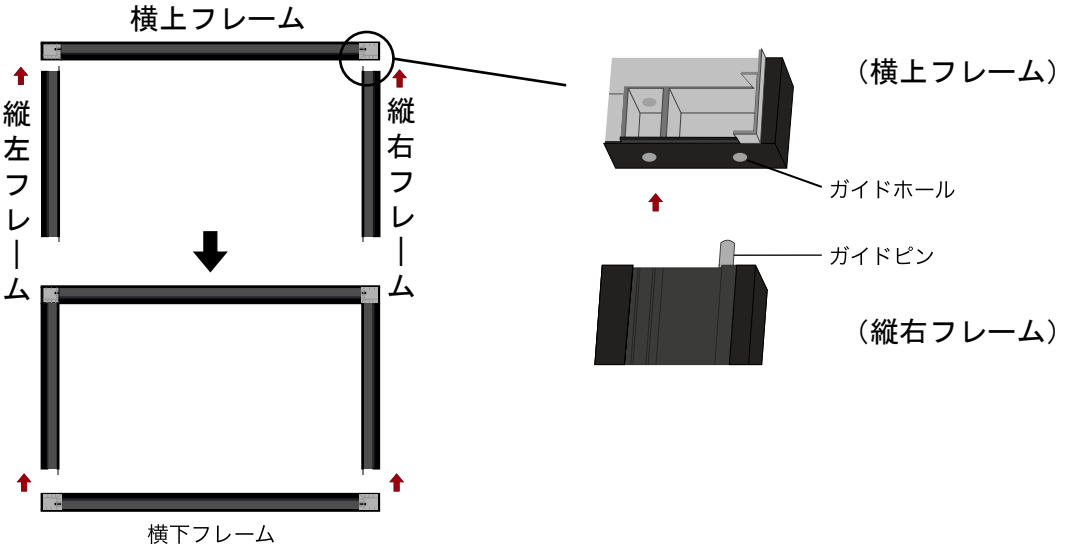
注意

・横フレームの表の中央にGRANDVIEWのロゴマークがついている方が下フレームとなります。

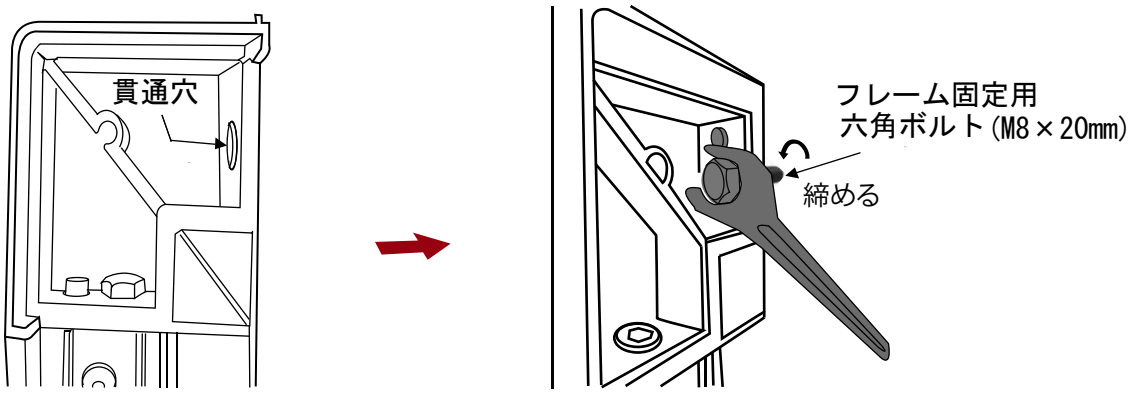
・必ず所定の数量のホックが差し込まれていることを確認してください。

３．横フレームの上下どちらかに縦フレームの左右を差し込みます。差し込む際に、縦フレーム端部のガイドピンを横フレームのコーナー部にあるガイドホールへしっかりと差し込んでください。左右ともしっかり入ったのを確認した後に、横フレームの上下どちらかを差し込みます。

・横上フレームに縦フレーム左右を差し込んだ場合



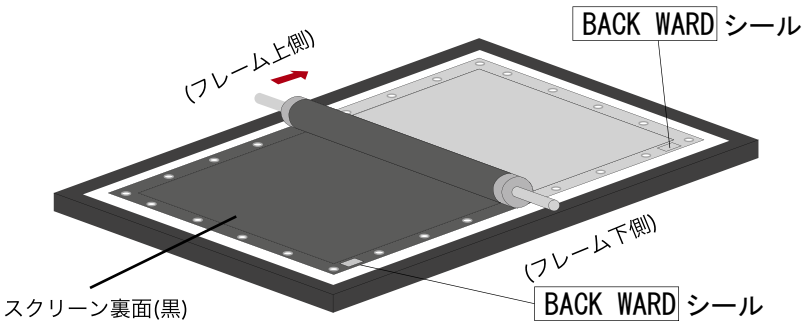
4．横フレームのコーナー部（左右）にある貫通穴に付属のフレーム固定用ボルト(M8×20mm)を差し込んでスパナを使用してしっかりと締め付けしてください。



締め付け作業が終りましたら表面の横フレームと、縦フレームの接合部に段差が発生してないか確認をしてください。
※万一、段差がある場合はボルトを一端ゆるめて接合部を平にした後に、再度締め付けをしてください。

スクリーンの張り込み方法(全機種共通)

1．床に置いたフレームの内部に有効面(白)を下にしてスクリーンを広げます。

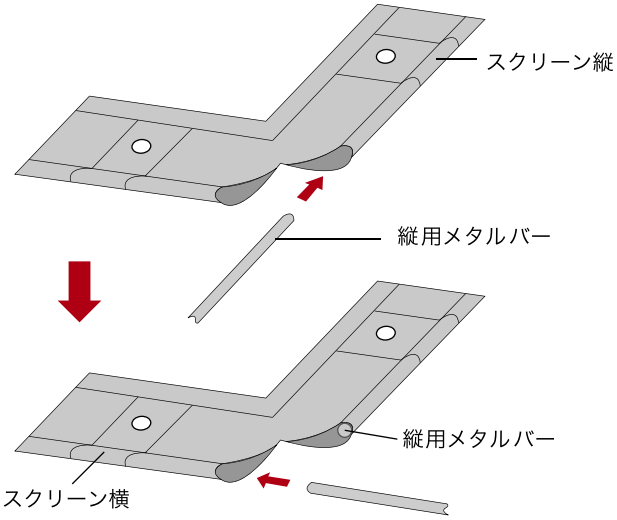


スクリーン張り込み用のメタルバー(縦・横)は、スクリーンを巻き付けしている紙芯の中に収納されています。スクリーンを広げる前に必ず取り出しておいてください。

注意

スクリーン端部に「BACK WARD」と記入されたシールが貼り付けされている方がフレーム下側となりますので間違いない様にセットしてください。

2．スクリーン端部の袋状になっている部分へ付属のメタルバーを縦フレーム、次に横フレームの横フレームの順に差し込んでいきます。



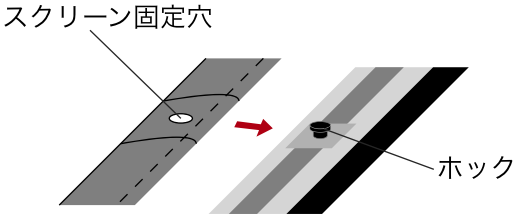
メタルバーを使用しないでスクリーンを張り込みしますとスクリーンの変形や損傷が発生する恐れがあります。

横用メタルバーは全長が縦用に比べて長いので無理に押し込んで行くとスクリーン生地が破損する恐れがあります。袋の状態を確認しながらゆっくりと差し込んでください。

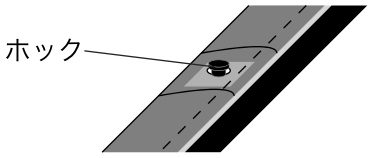
３．あらかじめフレームに差し込まれたホックを、フレーム内部に貼り付けされている青い矢印の位置に移動させます。

３－１．スクリーン縦側の中央のホックから固定穴を合わせてはめ込んでいき、片側が終ったら反対側のスクリーンを横方向へ強く引きながらホックへはめ込んでいきます。

３－２．スクリーン固定穴の両端を袋内部に差し込まれているメタルバーごと握ってホックに差し込みます。

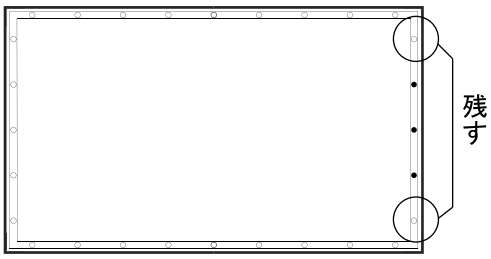


３－３．指の腹を使ってホックを上部の穴まで押し出します。

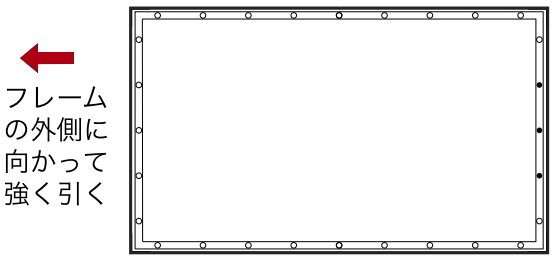


３－４．親指の先端と腹を使ってホックの頭部を完全に飛び出せます。

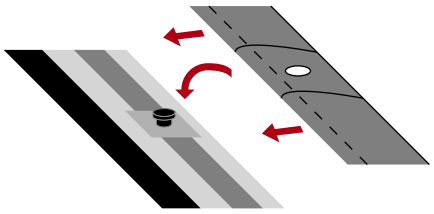
３－５．左右も同じ様にはめ込んでいきますが、コーナー部分は最終調整のために残しておきます。



３－６．反対側も３－１から３－４と同様に行いますが、この場合張力を与えるのでメタルバーをしっかりと握って強く引きながら作業してください。

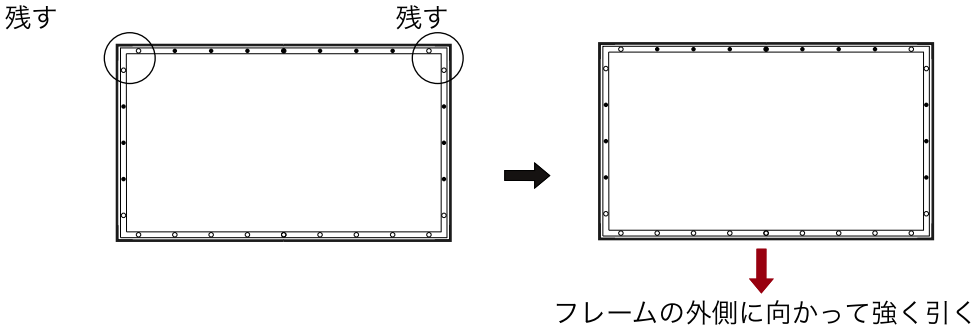


※３－５と同様にコーナー部は残しておきます。



ホックにスクリーン固定穴を完全に押し込む際に爪を立てて作業しないでください。スクリーンに傷がつき断裂する恐れがあります。

４．スクリーン横側の中央のホックから固定穴を合わせてはめ込んでいき、片側が終ったら反対側のスクリーンを横方向へ強く引きながらホックへはめ込んでいきます。作業方法は、３－２から３－５と同様に行ってください。



注 意

青い矢印の位置にあるホックとスクリーン固定穴の位置は、スクリーンを張り込むことによってズレてきます。この場合は、スクリーン固定穴の位置にホックをズラしてください。その際に、前面からスクリーンにシワがよっていないか確認し、万一シワがある場合はシワが消える方向へホックを更に移動してください。

５．コーナー部分の取り付け
横・縦ともに残してあるコーナー部分は、青い矢印の位置とスクリーン固定穴の位置を確認しながらはめ込んでください。

取り付け方法

⚠ 警 告	スクリーンを設置する壁や天井が、石こうボードやパーチクルボードなどの場合は、少なくとも100kgの重量を支えられる下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。

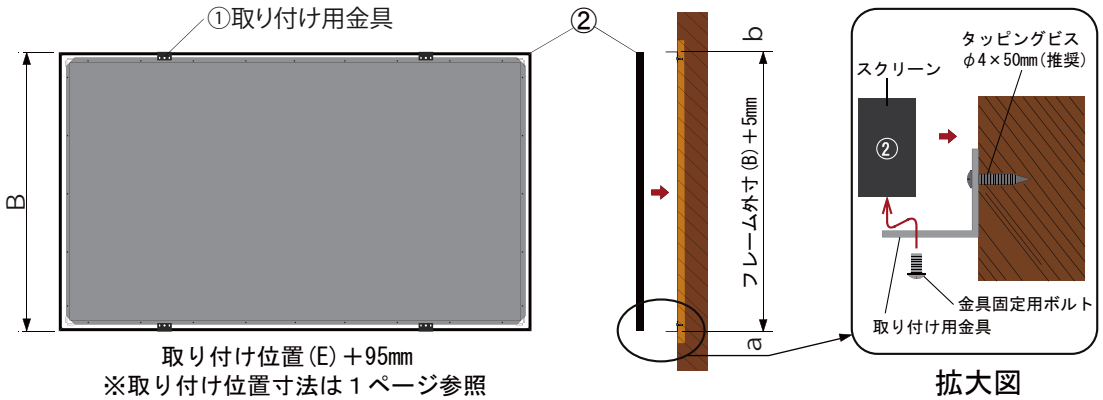
⚠ 注 意	禁止	◆壁取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。 ・ボードアンカーのみによる施工 ・補強下地無しの施工

合板の壁に設置する場合

⚠ 注意	合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

■取り付け場所の確認
本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですが、あらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器(※)などで確認してください。
(※)推奨機器：松下電工(株)「壁うらセンサー」等

※取り付けビス・アンカー・コンクリートアンカー等、御客様でご用意ください。



取り付け位置(E)＋95mm
※取り付け位置寸法は１ページ参照

拡大図

1．スクリーンを取り付けする位置に対して付属の取り付け用金具①(４個)の下側の位置を決めます。１ページの取り付け位置(E)+95mmが取り付け用金具の外～々の寸法となります。充電ドリルなどを使用してタッピング(φ4×50mm推奨)で金具の左右の長穴に差し込み締め付け固定してください。

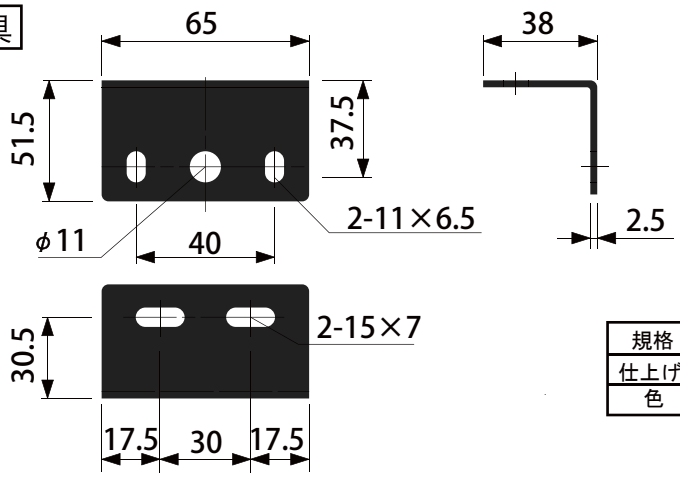
2．上側の横寸法は１項と同じです。縦の寸法は１ページのスクリーン外形寸法(B)＋5mmでａとｂの位置を決め、１項と同様タッピングビスで固定してください。

3．スクリーン②を上下の取り付け用金具の間に押し込みながら取り付けます。

4．上図の様に付属の金具固定用ボルト(M6×10mm)で上下方向からドライバーなどで締め込みして固定してください。

⚠ 注 意	取り付け用金具は、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。取り付け用金具の平行がとれてないとスクリーンを取り付けられない場合があります。

取り付け金具



規格	SPC t2.5
仕上げ	焼付塗装
色	黒　色

単位＝mm

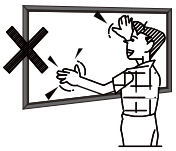
⚠ 注 意

スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

● スクリーン面に手をふれないでください。

禁止

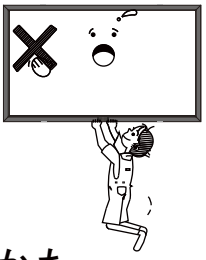


● スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。

禁止

● ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

警告

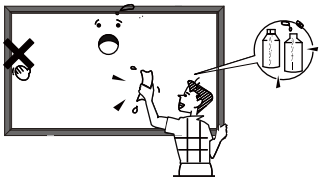


● 本体は絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止

● 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。

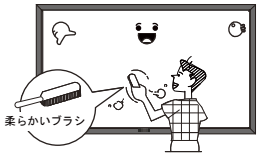
禁止



お手入れのしかた

● ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

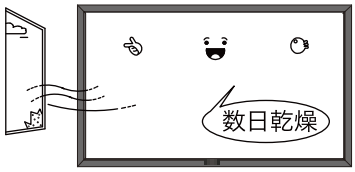
● スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

● 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが,万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



販売元：日本総代理店
株式会社　キクチ科学研究所
本　　社
〒161−0033　東京都新宿区下落合3−12−35
TEL.03-3952-5131(代)　FAX.03-3953-0051
大阪営業所
〒550−0014　大阪府大阪市西区北堀江1−5−2
四ツ橋新興産ビル100B号
TEL. 06-6567-9035(代)　FAX. 06-6567-9036
http://www.kikuchi-screen.co.jp/
KIKUCHI SCIENCE.LAB © 2021.02 GPA _RW